

MIXI知財室：AIエージェントが切り拓く「戦略的知財」の未来

知財業務を劇的に変える「構造転換」と成果



「人間ハブ」から「AIエージェントハブ」への転換

人がシステムにアクセスするのではなく、AIが自律的にデータを収集・提案し、人は「判断」に集中する構造へ。

外部ツールへの接続(環境)

知財業務化を経済し、自想的な大規模に横、脚拠度性を実現。

特許リードタイムを最大90%短縮

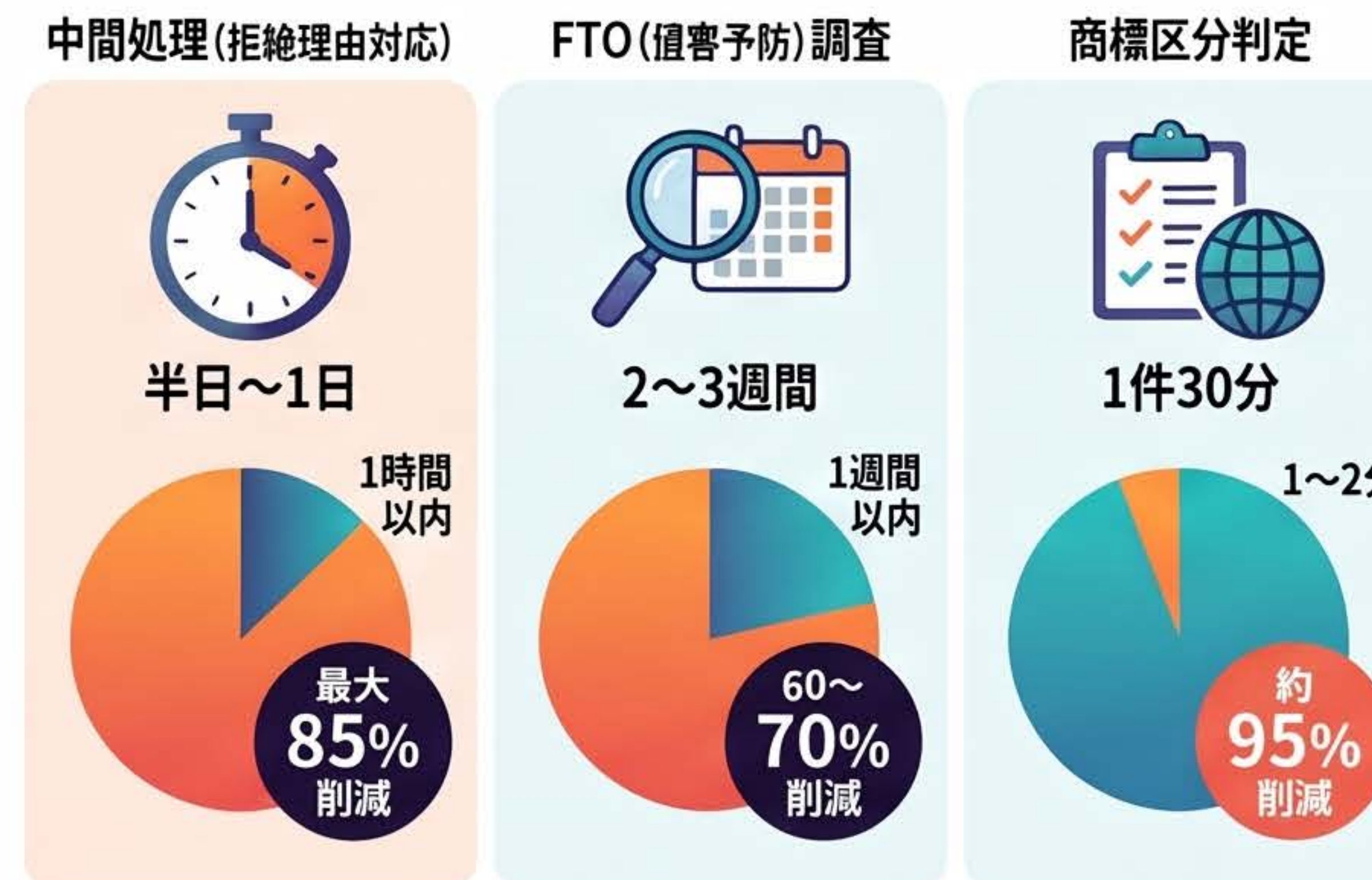
外部委託から内製ドラフト化への移行



5人で30人分の業務遂行能力を目指す

人員を増やさず、AIをスケールさせることで抜本的な大規模縮減の生産性を実現。

主要な知財業務におけるAI導入前後の劇的な時間削減効果

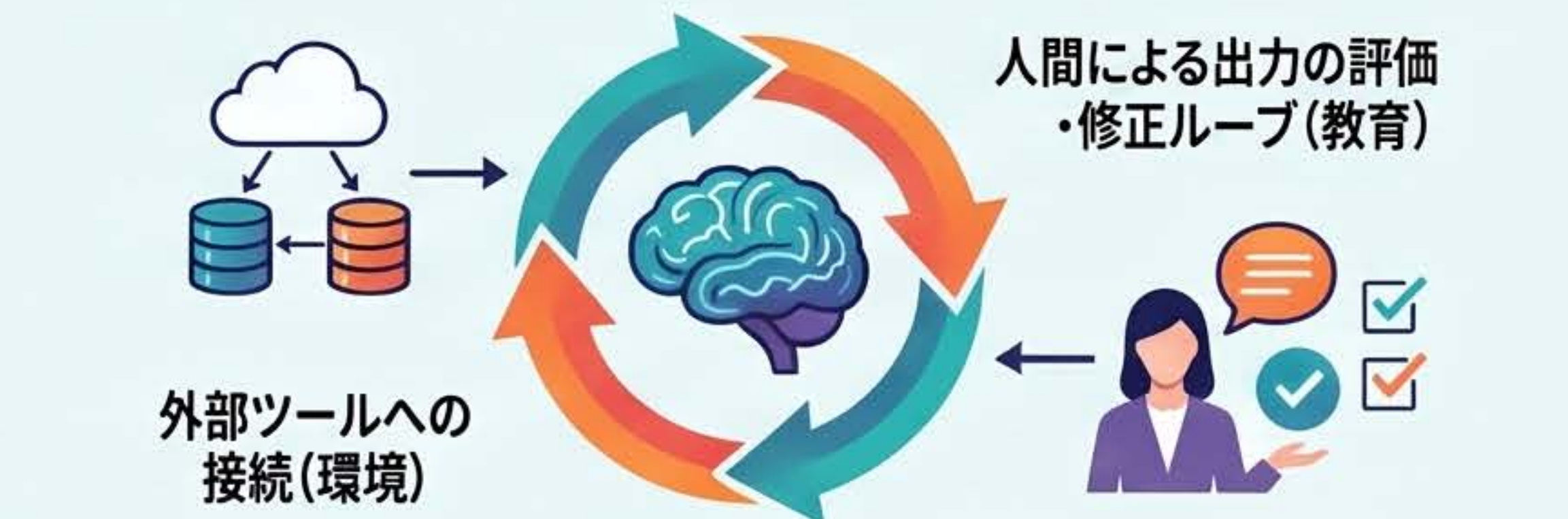


AIエージェントを戦略的パートナーに「育てる」仕組み



AI活用の3段階: 目指すは「戦略的パートナー」

単なる「一問一答」や「定型効率化」を超え、接敵工程を自律実行するエージェント組織へ。



「つなげる」環境整備と「育てる」フィードバック

外部ツールへの接続(環境)と、人間による出力の評価・修正ループ(教育)の両輪で進化させる。



役割の重心を「下流」から「上流」へ

事務的な処理機能から、データに基づいた知財戦略・事業貢献へと組織の付加価値をシフト。